



さんらん 火災



予告のない訓練で臨機応変な対応を 第2回避難訓練

11月25日(月)、今年度2回目の避難訓練を実施しました。前もって計画を伝えて実施した前回(5月)の訓練とは違い、今回は日時を生徒に予告せず、いわゆる「抜き打ち」の形で行いました。非常災害時には、自他の生命や

安全を守ること(自助・共助)や、迅速かつ的確に行動することが求められますが、実際の場面を想定し、突発的な災害発生時にも臨機応変に対応できるよう、今回のような予告なしの訓練を行ったものです。

この日は、昼休みの時間帯に日本海沖を震源とする震度4の地震が発生、その後技術室付近より火災が発生したという設定で訓練を行いました。突然の訓練ではありましたが、緊急地震速報や放送による避難指示に即座に反応した生徒たちは、「その場で姿勢を低くするなど、まず身を守る行動を取ること」や「迅速かつ安全に避難すること」など、大変落ち着いて行動できておりました。昼休みでしたので、それぞれが校内の様々な場所で行動している最中でしたが、避難指示から全員の無事が確認できるまで「2分10秒」と、大変迅速な避難行動ができていたと思います。ただ、外に避難する際に頭を守る等の防御姿勢を怠っていたり、点呼の際にざわつきが見られるなど、少々緊張感に欠ける面が見られたことは、残念に感じました。



職員室にいた生徒も廊下にいた生徒も咄嗟に身を低く

各学年の代表からは、「突然の訓練だったが、素速く避難行動ができた」「避難の際に“お・は・し・も”(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)の約束を守ることができた」「緊急地震速報が流れた際に、机の下に潜って身を守ることができた」といった振り返りが発表され、一人一人の意識付けもしっかりできていることが確認できました。



感想発表してくれた学年代表の皆さん

日頃から、各学級でも「安全行動」や「避難方法」「避難後の人員確認」などについては確認しておりますが、実践で生かせることこそが大切だと思います。今回のような訓練を通して、学校生活の上ではもちろん、通学時や自宅など、日常の様々な場面における安全確保の意識を高めてほしいと思います。

11月16日(土)、PTA校外指導部の皆さんによる危険箇所看板の撤去作業が行われました。

6月に看板を設置してから5か月半ほど経ちましたが、おかげさまで大きな事故等もなく、生徒たちは安全に通学できたと思います。この日は、学校周辺に霧が立ちこめる寒い朝でしたが、お集まりくださった校外指導部の皆さんにより、計7カ所の看板を無事撤去していただきました。大変手際よく、短時間で作業を終えることができたそうです。お忙しい中にも関わらず、作業にご協力くださった校外指導部の皆さんには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

お忙しい中のご協力に感謝 PTA校外指導部による 危険箇所看板撤去作業



自転車通学も終了し、今週からは徒歩もしくは自家用車による送迎で通学している生徒たちですが、今後道路の積雪や凍結による危険も予想されます。先日、内小友公民館で開催された「小中学校・保育園・駐在所と地区民生児童委員協議会との懇談会」の中で、内小友駐在所の工藤所長さんから「最近、日暮れが早くなるに伴って、自転車や歩行者と車との交通事故が増加している。ドライバーには“歩行者ファースト”の意識をもって運転してほしい」というお話がありました。冬も安全な登下校ができるようご家庭の皆様のご協力をお願いいたします。